



## 令和 2 年 度 P T A 本 部 便 り N O . 1

令和 2 年 7 月 31 日 発 行  
横 浜 市 立 榎 が 丘 小 学 校  
学 校 長 仲 川 美 世 子  
P T A 代 表 早 瀬 久 美 子  
森 由 希  
三 好 敦 子

日頃より、PTA 活動にご協力頂き、ありがとうございます。

令和 2 年度 PTA 本部・運営委員役員決定時には予想しなかった状況になっておりますが、これまで各部がどのように活動してきたかをご紹介します。

本部からは、書面総会・防災備蓄品について掲載いたしますので是非ご覧ください。

### 各部へ質問しました！

- ① 現在までの各部の議題や活動内容
- ② この状況で部内・学校とどのように打ち合わせをしているか
- ③ 困っている事
- ④ 前例のない活動をしている中、今後の活動予定や来年度へ向けて気付いた事

### 【学年学級】

- ① ベルマーク、テトラパック関連のお知らせ配布、各クラスへ回収ボックス設置に関する対応、テトラパックの送付。
  - ・ 学年委員、スポット活動について本部、各部と打ち合わせ。
  - ・ 部内打ち合わせ
- ② 主に LINE ですが会話が必要な内容は zoom でオンライン打ち合わせを行っています。
- ③ 学年委員選出がなかったため委員と一緒にやる予定の活動ができなくなった。
  - ・ 今年度クラス委員から学年委員に変わり初めての活動だったので各部と連携しながら委員の仕事内容について検証し次年度に繋がりたいと思っていたがそれもできなくなった。
- ④ 次年度以降のスポット活動の見直しを学校、本部と行う予定です。合わせて学年委員の業務内容についても再確認します。

### 【広報】

- ① 部内で今後の方針についてなど打合せ
  - ・ 各号の撮影・取材依頼、日程調整
  - ・ 業者とのやり取り
  - ・ 発行作業
  - ・ 取材アンケートの作成
- ② メール、LINE、密室を避けての最小減の打合せ
- ③ 文面だけのやりとりだと伝わり難いことが多々ある。
  - ・ 3 密に配慮しながらの取材・撮影はほぼ不可能になっている。
  - ・ 各部の活動を取材・撮影できず、保護者の方へお伝え出来ない現状がある。
- ④ 何もかも例年通りが通用しない現状毎年の発行回数などに拘らず柔軟に対応していくこと。
  - ・ 方法を変えて、できることを無理なく活動していくこと。

### 本部便りは HP にも掲載しております！

#### 【本部】

- ① 各部・学校との打ち合わせ
  - ・ 書面総会（総会資料・予算案・報告書の作成）
  - ・ 防災備蓄品の検討
  - ・ 帳簿・備品管理
- ② メール、LINE、電話  
zoom を利用したオンラインミーティング  
密閉を避けて、屋外ミーティング
- ③ 議案の検討・確認・承認に時間がかかる。
  - ・ 顔を合わせて話し合えないので、コミュニケーションが取りづらい。文面だけのやり取りの難しさを感じている。お互いの仕事が見えにくい。
  - ・ 来校回数が減ったので、手紙の確認を定期的に行えない
- ④ 会議の回数を最低限に減らせるのでは。
  - ・ 学校の協力、理解のもと、学校 HP に PTA 欄を作った。
  - ・ HP 活用により、経費や印刷作業時間の削減にもなるので、今年度限りではなく、来年度以降も配布と HP 掲載を随時使い分けていきたい。

#### 【保健】

- ① 本部・学校との打ち合わせ
  - ・ 保健部活動事業の運営方法の検討
  - ・ 保健部にて白衣修繕（休校期間中）
  - ・ コロナウイルス感染症に関する「保健だより」作成と配布（6/26）
  - ・ コロナ流行の中でのカーテン洗濯、白衣修繕などの方法についての話し合い
- ② メール・LINE・電話
  - ・ グーグルドライブでドキュメント共有による非対面の「保健だより」オンライン編集作業。
  - ・ PTA 会議室での作業は、時間を縮小してできるように工夫している。
- ③ 直接顔を合わせて話し合いができない。LINE などのコミュニケーションでは時間がかかる。
  - ・ ほかの部の状況がつかめない。
  - ・ 感染予防の点で学校と接触しづらい。
  - ・ 例年通りの活動ができない、しづらい。
- ④ 会議の回数を最小限に減らし、書面、電話でのやりとりを行う。
  - ・ 保健だよりなど紙媒体でのおたよりも、メール配信で保護者に届けるなど、HP に掲載することができたら便利だと思う。

### 【地区部校内】

- ① 登校班名簿の印刷・配布。
  - ・スクールゾーン改善のための要望書提出（区・警察・土木事務所）
- ② 部内はすべてLINE。印刷・配布作業のみ来校。
  - ・地区チーフとは基本的にメール。名簿提出など、メールで済まない業務のみ来校。
  - ・学校とは電話、メール。書類の提出時のみ来校。
- ③ 部員が4名、地区チーフは14名と数が多いため、メールのやりとりが長くなりがちで、一つの案件が片づくまでに膨大な時間がかかる。
  - ・この状況下で詳細が未定なものが多く（懇談会、就学時保護者説明会など）事前準備が難しい。
- ④ 春休み中の印刷・配布準備が日程的にきつかったため、今後は積極的にHPを活用したい。
  - ・会議の中止が相次ぎ、地区チーフに書類をメールしたことがあったが、アドレスによっては、うまくいかないことがあった。
  - ・来期は事前にメールの受信テストを行いたい。

### 【地区部校外】

- ① 校外活動サポーターの募集、名簿作成
  - ・子ども110番の家協力者への継続確認、災害補償保険申請完了
  - ・地区部だより作成中
- ② メール、LINE、電話
  - ・少人数でソーシャルディスタンスを守って打ち合わせ
- ③ 顔を合わせて話し合えないので、メールでのやり取りに時間がかかる。
  - ・各部の意見を本部にあげ、学校側とやり取りして頂いていますが、本部の方に負担をかけているように思う。
- ④ HP利用など考えてみましたが、提出が必要なもの（校外サポーター募集、子ども110番の家協力者募集）はプリント配布も必要になるので、利用が難しいです。

### 【選考管理】

- ① 各部、学校との打ち合わせ、書面総会、会議への提出資料作成
  - ・新入生、転入生向けPTA登録カードセットの準備
  - ・今年度学年委員選出についての協議、募集。来年度役員選出方法代替案の協議、作成
- ② LINE、メール、屋外ミーティング、PTA室で話し合い、電話
- ③ コロナ感染が怖い、個人情報扱う作業が多いため、来校をしなければならないこと
- ④ メールを活用する事で、委員立候補や保護者と直接やりとりする事が出来、作業をスリム化するに当たり、双方にメリットがある
  - ・懇談会での委員選出が不可能なため、書面での意思確認書や新しくじ引き方法、メールを活用する事で、委員をスムーズに選出することが出来る

### 【PTA 総会振り返り】

PTA 定期（書面）総会にご協力ありがとうございました。  
今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、初めて電子申請システムを利用した書面総会を行いました。  
当初は回答が後回しになり、回答率が下がるのでは…と不安もありましたが、結果、回答率は86%と元年度年度末の書面総会の回答率84%より上回り、またペーパーレスの為エコ、さらに経費の削減にもつながりました。  
総会においては今後も電子申請システムを利用するかは未定ですが、破棄しがちな紙面と違い、後で再度確認できるという利点もありますので、今後もHPと配布を随時使い分け、積極的にHPを利用していければと考えています。

### 電子申請システムって？

今年度何度も使用されているこのシステムは、横浜市の電子申請サービスで、榎が丘小学校では校長先生がアクセス権をお持ちです。今回の書面総会は、校長先生・副校長先生のご協力で実現しました。ありがとうございました！

### 【防災備蓄品を検討中です】

昨年度PTA運営委員会により決定した、防災備蓄品の内容を検討中です。被災時における保護者のお迎えまでの時間に、榎が丘小学校児童に優先的に配布する物を想定しています。  
購入は、アレルギー対応と7年保存可能に主眼をおき、水を注ぐだけの長期保存米、食物アレルギー対応の長期保存米粉クッキーを検討しています。  
本来ならば、役員会（校長先生・副校長先生・本部役員）で試食・検討する予定でしたが、この状況ですの各自宅で試食を始めました。  
学校で保管する備蓄品は、毎年6年生の卒業時に1人分ずつお渡しする計画です。卒業まで使用する機会がないことを祈りますが、万が一の時に児童の安心・安全の役に立つ事を念頭に選定したいと思います。

### 【PTA 代表 早瀬久美子より】

今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、運営委員同士の顔合わせもできずに、PTA活動をスタートせざるを得ませんでした。  
現在世の中が様々な事に制限や変化が求められていますが、PTA各部の運営においても同じ事が言えます。子供達の安全な学校生活を守るためにも、PTA活動自体を安全に行う必要があると考えており、例年通りの進め方は出来ないため、新しいやり方を模索しながら進行中です。  
年度末まで、本部役員、運営委員一丸となり、できることに精一杯取り組みたいと思います。会員の皆さま、ご理解の程どうぞ宜しくお願い致します。